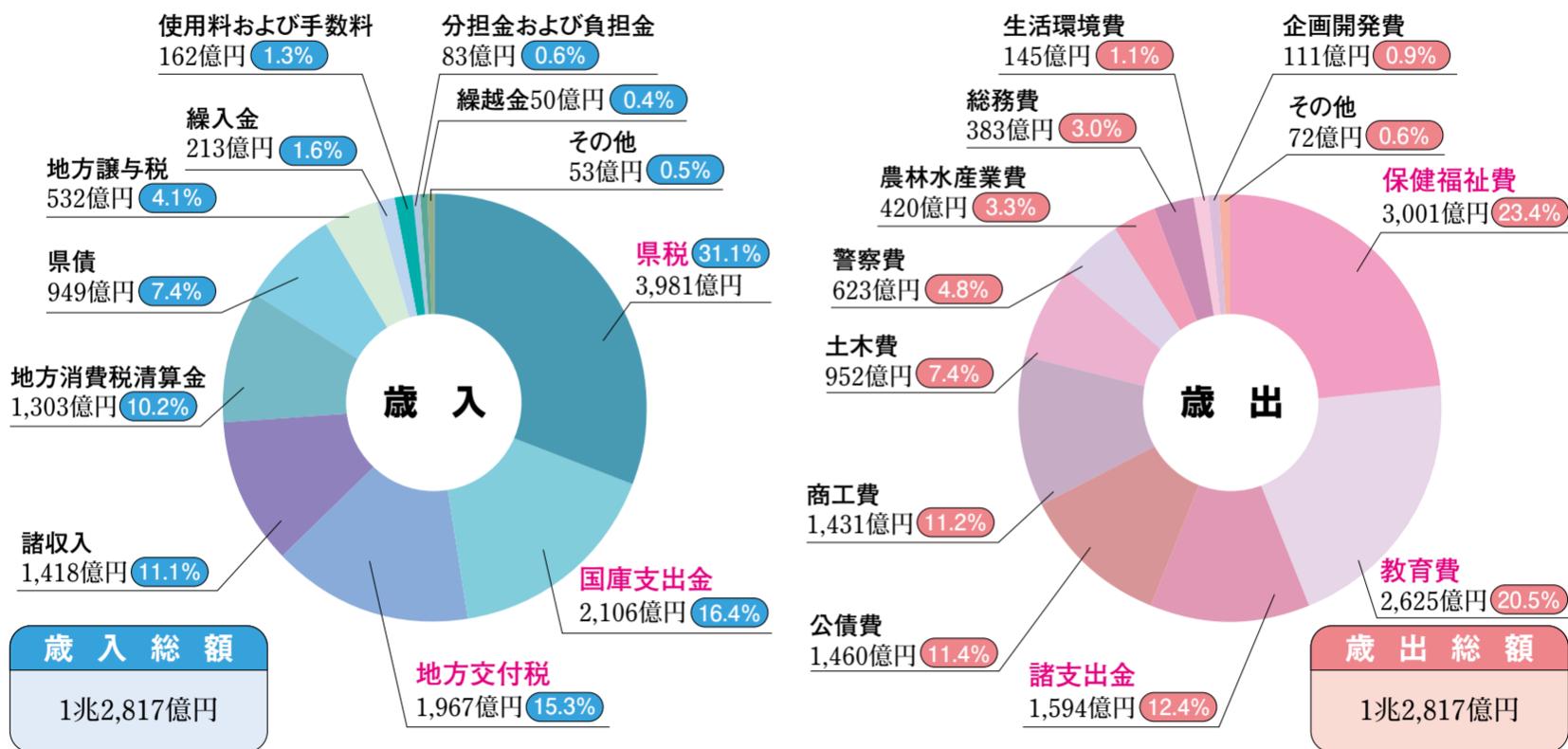


令和4年度一般会計予算の内訳



主な事業

新型コロナウイルス感染症への対策

- 医療提供体制の充実 (596億5,600万円)
- ワクチン接種体制の強化 (106億3,300万円)
- 検査体制の拡充 (115億1,000万円)
- 小学校の臨時休業に伴う放課後児童クラブの実施に対する補助 (3億1,500万円)
- リモート授業や教育のテレワーク環境構築などにかかる端末やシステムの整備 (7億7,300万円)
- 経営改善や新たな事業分野への進出に取り組む中小企業・個人事業主の資金繰りへの支援 (874億5,300万円)

1 「新しい豊かさ」へのチャレンジ

- 新カーボンニュートラル先導モデル創出推進事業 (5,000万円)

- 新いばらきカーボンニュートラル産業拠点創出推進事業 (3,800万円)
- 新港湾計画調査事業(カーボンニュートラル関連分) (1,700万円)
- 新中小企業資金融資制度関連事業(カーボンニュートラル関連分) (18億3,000万円)
- 新カーボンニュートラル産業拠点創出推進基金積立金 (200億円)
- 新いばらきフードロス削減プロジェクト推進事業 (1,100万円)
- 新デスティネーションキャンペーン事業 (1億700万円)

2 「新しい安心安全」へのチャレンジ

- 新看護・介護・障害福祉職員等処遇改善関連事業 (41億1,100万円)
- 新介護福祉士養成校外国人留学生受入支援事業 (900万円)

- 新介護職種技能実習生日本語能力向上支援事業 (600万円)
- 新ケアラー・ヤングケアラー支援事業 (900万円)

3 「新しい人財育成」へのチャレンジ

- 新大学進学率アッププロジェクト事業 (8,200万円)
- 新ダイバーシティ推進・啓発事業 (2,000万円)

4 「新しい夢・希望」へのチャレンジ

- 新台湾いばらき経済交流促進事業 (5億円)
- 新TX県内延伸調査検討事業 (1,800万円)
- 新情報化普及啓発推進事業(DX(デジタルトランスフォーメーション)プロジェクト推進事業分) (2,800万円)

今回の、令和4年第2回定例会は、6月6日から20日までの15日間の会期日程で開催される予定です。

月日	曜	議事予定
6. 6	月	議会運営委員会 本会議(開会、知事提出議案説明)
7	火	休会(議案調査)
8	水	休会(議案調査)
9	木	議会運営委員会 本会議(一般質問・質疑)
10	金	本会議(一般質問・質疑)
11	土	本会議(一般質問・質疑・議案常任委員会付託) ※「休日議会」
12	日	
13	月	休会(委員会審査準備)
14	火	休会(常任委員会)
15	水	休会(常任委員会)
16	木	休会 (新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員会)
17	金	休会(議事整理)
18	土	
19	日	
20	月	議会運営委員会 本会議(委員長報告、採決、閉会)

「休日議会」を開催します

県民の皆様の政治への参画を推進するため、第2回定例会において、6月11日(土)に「休日議会(13時開会)」を開催いたします。

〔傍聴の問合せ先〕茨城県議会事務局・議事課 ☎02933015634

駐日ウクライナ特命全権大使の県議会来訪記念行事を開催しました

3月16日に、セルギー・コルスンスキー駐日ウクライナ特命全権大使が県議会に来訪され、記念行事を開催しました。

県議会は、全国の地方議会に先駆け、2月25日に「ロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議する決議」を全会一致で可決し、3月3日には、白田信夫議員と小川一成議員が在日ウクライナ大使館を訪問して、全議員から集まった人道的義援金を贈呈しました。

記念行事では、これらに対するお礼と併せて、ウクライナの現状について話したいとの大使の意向を受け、大使による講演が行われました。

講演に先立ち、伊沢勝徳議長が「戦火の拡大に伴い被害に遭われた方々に心からのお見舞いを申し上げる。力を背景とした、一方的な現状変更への試みは断じて看過できず、1日も早い停戦を切に望んでいる」と挨拶し、講演では、大使から、ウクライナの窮状とともに、多方面からの支援に対する感謝、復興支援に対する思いなどが述べられました。

講演後、海野透議員が「1日も早く、ウクライナが平和を取り戻すことを祈念する」と締めくくりました。

※「駐日ウクライナ大使 茨城県議会来訪記念行事」はこちらからご覧いただけます。

https://ibaraki-pref.stream.jfrc.co.jp/?p=play_vod&inquiry_id=1140

講演するセルギー・コルスンスキー駐日ウクライナ特命全権大使